

地域活性化調査検討特別委員会
提言書（意見具申）

平成30年3月22日

地域活性化調査検討特別委員会

地域活性化調査検討特別委員会
提言書（意見具申）

【特別委員会の設置時期】

平成28年6月17日（6月定例会）

【委員会構成】

委員長	塩谷 裕志	
副委員長	森山 幸太	
委員	有光 孝次	
同上	大西 修	
同上	林 茂樹	
同上	河村 賢治	
同上	小林 太	
同上	石田 洋治	
同上	胡摩田弘孝	以上9名

【特別委員会設置の目的】

大田市においては、これまで人口減少や少子高齢化に対応すべく、産業振興策や子育て支援、定住対策など様々な施策を講じてきたところであり、また、平成21年度より市内7ブロック、27のまちづくりセンターを配置し地域の活性化に努めてきたところである。

しかしながら、人口減少には一向に歯止めがかからず、特に周辺の中山間地で顕著であり、併せて少子高齢化と人口減少に伴って、各地域では買い物や医療福祉など日常生活を維持する上での様々な課題が発生しており、その解決と対策の充実が強く求められているところである。

国、県において、地域活動、サービス機能の集約などのいわゆる「小さな拠点づくり」、大田市では安全で安心して住める「持続可能なまちづくり」を進めており、「住みやすいまちづくりの確保が第一義」という観点から、これらの取り組みの充実に向けて、調査検討し、意見具申するとともに、市の施策に反映させるべく、当特別委員会が設置された。

【特別委員会開催の経過】

特別委員会では、市の現在取り組んでいる「地域交通」「買い物支援」「定住対策」「地域のまちづくりの取り組み」などの現状・実態や課題、財政措置の実態を調査するとともに、担当者と協議を重ねた。（別紙資料1を参照）

その後、アンケートを事前に徴収した後、各27の地域のまちづくり関係者、総勢58名との意見交換会を行った。（別紙資料2・3を参照）

そして、当特別委員会において、各地域の持続可能なまちづくりのための課題を集約し、このたび提言書として纏めた。

【特別委員会の提言】

各地域ごとに提示する課題には、地域特有の課題もあれば、共通の課題もあり、また、その解決に向けては、個々の地域で解決を図るべきものと、他地域との連携により解決を図るべきものがあり、個々の地域の課題は、別紙資料として添付したところであるが、提言書においては、大きく4項目に集約し提言する。

1) 持続可能な集落機能（小売店など）の確保と対策

人口減少と消費者ニーズなどの社会変化により、生活基盤の小売り店の商店や燃料店や医療施設などが、地域内で無くなりつつある。

高齢者世帯など弱者への対策として、拠点エリアの設定に併せ、生活基盤の施設の在り方などの検討、対策に取り組むべきである。

2) 現公共交通の見直しと、地域交通の確保・拡充

自家用車の使用頻度の高い当市において、これまで予算措置も含め、JRや路線バスなどの公共交通に頼ってきた経緯があり、乗車率は地域によっては低迷しており、地域の高齢化と核家族化により、通院・通学、買い物などにおいても支障が生じている。また、高齢者においては、駅や停留所までの移動さえも困難な住民が増加する傾向であり、今後の過疎高齢社会においては、これまでの交通体系と予算措置の抜本的な見直しが必要であり、将来を見据えた検討が必要である。

3) 空き家、並びに荒廃農地の対策と方針の提示

国においても取り組み始めたところであり、空き家や荒廃農地の実態は、中山間地はもとより、市街地においても軒並み見受けられるところである。所有権などの制約はあるものの、都市計画、持続可能なまちづくりの観点から、行政しか出来ない法規制の緩和などの働き掛けや、再活用や支援体制づくりに取り組むべきである。

4) 人材育成の環境づくりの支援

これまでは、各地域にリーダーがおり、その方々を中心にまちづくりなどが活発に取り組まれていた。「まちづくりは人づくり」と言うものの、少子高齢化、人口減少、また価値観の多様化などにより、自治組織、伝統行事の継承、そして通いの場づくりのスタッフの確保や、若者の地域活動への参画など、地域課題として数多くの意見が寄せられたところであり、行政として職員の地域に寄り添う姿勢はもとより、人材を育成する環境づくりの支援のあり方について、真摯に取り組むべきである。

地域からはたくさんの地域課題の意見が寄せられているので、別紙資料等を参考にされたい。

【委員会等の開催状況】

平成28年 第1回 6月30日

- 正副委員長の選出
- 持続可能なまちの形成に向けた調査検討、意見具申について

第2回 8月26日

- ブロックにおけるまちづくりの現状と課題について
- 今後の進め方について

[9月定例会にて中間報告(9月5日)]

第3回 10月28日

- 市内の地域交通の現状と今後について
- 定住対策事業の現状と今後について
- 各地域の課題、取り組みの把握(意見聴取)について

平成29年 第4回 2月7日

- まちづくり活動の、取り組みの現状について
- 地域課題(活性化策)の絞り込みについて
- 今後の進め方について

[3月定例会にて中間報告(3月6日)]

第5回 7月27日

- 各まちづくりセンターへの意見聴取について

[9月定例会にて中間報告(9月1日)]

第6回 9月27日

- 地域との意見交換会(概要)について

第7回 10月6日

- 地域との意見交換会(進め方)について

第8回 10月12日

(仁摩ブロック意見交換会)

第9回 10月13日

(三瓶まちづくり委員会意見交換会)

第10回 10月16日

(温泉津ブロック意見交換会)

第11回 10月16日

(中央ブロック意見交換会)

第12回 10月18日

(西部ブロック意見交換会)

第13回 10月19日

(高山ブロック意見交換会)

第14回 10月20日

(東部ブロック意見交換会)

第15回 11月28日

- 意見交換会のまとめについて

[12月定例会にて中間報告(12月18日)]

平成30年 第16回 2月23日

- 取り纏め(提言書)について

[3月定例会にて最終報告(3月22日)]

【意見交換会での地域課題の意見の概要】（詳細は別紙3を参照）

中央ブロック

【大田】

- ・自治会組織の活性化（地域指導者、人材の育成）
- ・若者流出の対策（若者の居場所づくり、雇用の確保）
- ・地域の福祉活動（子育て支援と高齢者の共助の仕組みづくり）など

【川合】

- ・次世代の人材づくり（人材づくりの活動）
- ・若者定住と雇用の確保（若者の確保による定住の促進）
- ・耕作放棄地対策（鳥獣対策）など

【久利】

- ・地域交通の確保（買い物支援）
- ・高齢化対策（高齢者の生きがいづくり）
- ・耕作放棄地対策（鳥獣対策）など

【大屋】

- ・地域交通の確保（通院、買い物、通学支援）
- ・高齢者対策（通いの場づくり）
- ・鳥獣被害対策（農業、農地保全の担い手確保）など

東部ブロック

【富山】

- ・まちづくりセンターの老朽化対策（空き校舎の活用）
- ・地域交通の確保（通院、買い物、通学支援）
- ・空き家対策（安全・安心の確保、移住・定住対策）
- ・耕作放棄地対策（鳥獣対策）など

【朝山】

- ・地域交通の確保（通院、買い物、通学支援）
- ・地区の組織化と担い手の育成（地域活性化に向けた人材育成）など

【波根】

- ・まちづくりセンターの体制づくり（人材育成、確保）
- ・雇用の場の確保（定住対策）
- ・高齢者対策（通いの場の持続的運営）など

【久手】

- ・高齢者対策（通いの場の複数設置）
- ・安全安心なまちづくり（危機管理体制）など

西部ブロック

【鳥井】

- ・持続可能なまちづくり体制（予算等の確保）
- ・自治組織の継続など

【長久】

- ・通いの場づくり（地域リーダーの育成）
- ・買い物支援（地域内の移動手段の確保）
- ・若者の定住対策（雇用の確保）など

【静間】

- ・安全安心な防災体制づくり（持続可能な体制の取組み）
- ・まちづくり体制の見直し（まちづくりセンター、公民館の在り方の検討）
- ・雇用創出による定住対策など

【五十猛】

- ・通いの場づくり（開設に向けての人材不足と市の指導力）
- ・まちづくり体制の見直し
- ・地域防災対策など

三瓶ブロック

【池田】

- ・空き家対策
- ・地域交通の確保（買い物支援など）
- ・既存観光資源の活用（浮布池の浄化など）
- ・鳥獣被害対策など

【志学】

- ・地域の役員などの負担の軽減（人材育成）
- ・人材不足と若者の参画
- ・鳥獣被害対策など

【北三瓶】

- ・地域内交通の確保（通院、買い物支援）
- ・まちづくり体制（拠点の整備、自治会組織の見直し）
- ・山村留学センターの市内開放
- ・子育て支援（就学前児童への支援と定住対策）など

高山ブロック

【大森】

- ・地域交通の確保（高齢者の通院、買い物支援）
- ・保育所の充実（さくら保育園の整備）
- ・石見銀山の整備（遊歩道整備など）など

【水上】

- ・子育て支援による若者定住（支援策の充実と子育て環境の整備）
- ・地域交通対策（路線バス網の見直し）など

【祖式】

- ・高齢者対策（買い物支援）
- ・地域内交通の充実（スクールバス運行の見直し）など

【大代】

- ・高齢者対策（地域交通の拡充）
- ・まちづくり体制の見直し
- ・通いの場づくり（市の支援と役割）など

温泉津ブロック

【温泉津】

- ・安全安心なまちづくり（空き家対策）
- ・地域の人材育成
- ・まちづくり体制の見直し
- ・通いの場づくりなど

【湯里】

- ・買い物支援
- ・地域内交通の維持
- ・集落の維持（耕作放棄地、鳥獣対策）など

【福波】

- ・安全安心なまちづくり（空き家対策）
- ・地域医療の充実
- ・まちづくり体制の見直し（予算の確保、正職配置）など

【井田】

- ・地域交通の確保
- ・各地域毎の取り組みを尊重
- ・地域産業の活性化（地産品の活用、鳥獣被害対策、農地維持）など

仁摩ブロック

【仁万】

- ・若者定住の環境づくり（若者の居場所づくり）
- ・人材育成（地域リーダー、通いの場）など

【宅野】

- ・まちづくりセンターの環境整備と財源の充実
- ・若者の定住対策（雇用の確保）
- ・高齢者対策（通いの場づくり）など

【大国】

- ・買い物支援
- ・まちづくり体制の充実（持続と人材充実）
- ・道の駅を活用した地域活性化（地域での参画）など

【馬路】

- ・空き家対策（空き家の活用）
- ・自治組織の見直し（将来への対応）
- ・観光資源の活用（市に役割と支援）など